

国内で開発されることが重要と考えられるワクチンとその理由 に関する調査結果(ワクチン製造販売業者及び販売業者)

国内で開発されることが重要と考えられるワクチンとその理由について、本年5月～6月に結核感染症課から日本ワクチン産業協会の会員17社に照会し、12社から回答を得た。本資料は、その回答結果に基づき、結核感染症課にて取りまとめたものである。

開発が重要と考えられるワクチン	理 由
小児用混合ワクチン 例) Hib-HBV DPT-IPV-HBV DPT-IPV-Hib DPT-IPV-HBV-Hib MMR MMRV	過密になっている乳幼児期の予防接種スケジュールの緩和、被接種者等の負担軽減、接種率の向上等のため
渡航者用ワクチン 例) 侵襲性髄膜炎菌性疾患予防ワクチン 腸チフスワクチン デング熱ワクチン マラリアワクチン ウエストナイルワクチン 手足口病ワクチン	渡航者の健康維持、国内への伝播の防止、グローバルヘルスへの貢献のため
ノロウイルスワクチン	乳幼児、高齢者の感染性胃腸炎等の発症予防のため
学童期以降のブースターワクチン 例) 成人用百日咳ワクチン 不活化ポリオワクチン	ブースター投与による長期的な免疫の維持のため
HIVワクチン	医学的及び社会的な影響が大きい
Respiratory syncytial virus (RSV) ワクチン	乳幼児の下気道感染症、高齢者の呼吸器疾患等の発生予防のため
サイトメガロウイルス (CMV) ワクチン	先天性CMV感染症の発生予防のため
結核菌ワクチン	医学的及び社会的な影響が大きい
インフルエンザワクチン 例) 改良インフルエンザワクチン 季節性経鼻インフルエンザワクチン 万能型インフルエンザワクチン	幅広い亜型に対するインフルエンザの感染予防等のため
HPVワクチン(価数を増やしたものの、男性への適応)	ワクチンによる感染カバー率を高めるため

肺炎球菌ワクチン(価数を増やしたもの)	ワクチンによる感染カバー率を高めるため
帯状疱疹ワクチン	ワクチンによる制御が可能であり、医学的及び社会的な影響が大きい
単純ヘルペスウイルス(HSV)ワクチン	STDの予防、母子感染等の予防のため
院内感染予防ワクチン 例) C.Diffワクチン	院内感染や合併症の発症予防のため
黄色ブドウ球菌ワクチン	ワクチンによる制御が可能又は好ましく、医学的な影響が大きい